

2016年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2016年8月7日

発行人 日本基督教団 関東教区

埼玉地区委員会

委員長 川 柴 三 郎

鴻巣市東1-1-27

http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/

印刷所 (株)シャローム印刷

埼玉地区総会報告

三月二十一日(月) 聖学院教会を会場に、議員一四三名中一〇八名の出席を得て埼玉地区総会は開催された。開会礼拝は、この三月で北本教会を辞される石川榮一牧師が説教奉仕され、議長は川柴三郎牧師(鴻巣・地区委員長)が担われた。また、関東教区問安使、熊江秀一牧師(副議長・新津)と小林祥人牧師(宣教部委員・取手)の挨拶を受けた。



三月二十一日(月) 聖学院教会を会場に、議員一四三名中一〇八名の出席を得て埼玉地区総会は開催された。開会礼拝は、この三月で北本教会を辞される石川榮一牧師が説教奉仕され、議長は川柴三郎牧師(鴻巣・地区委員長)が担われた。また、関東教区問安使、熊江秀一牧師(副議長・新津)と小林祥人牧師(宣教部委員・取手)の挨拶を受けた。

(3) 二〇一六年度宣教活動計画について

地区主題は「主にある交わりを深めよう」、聖句「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」コリントの信徒への手紙一 十二章二十六節。

活動は以下の四つについて川柴三郎委員長より提起され賛成多数で可決された。①最寄り区教師会が中心になり、きめ細やかな交わりを深める。②最寄り区の活動を活発にして、各教会・伝道所の一致と連帯の強化に努める。③委員会活動を最寄り区の諸教会・伝道所に浸透させ、活性化。④伝道所・集会所懇談会を地区伝道委員会が受け止め伝道協議会として活動する。

(4) 二〇一六年度予算について

計の金田牧師より説明があり、賛成多数で可決された。

(5) 議案第七号地区会計監査委員選出、第八号地区総会議事録承認、第九号次期地区総会会場及び日程については、二〇一六年度の地区委員会に付託することが、賛成多数で可決された。



二〇一六年度の埼玉地区の活動が、主にあつて真の教会の豊かな交わりとなりますよう祈り願います。最後に、会場を提供しご奉仕くださいました聖学院教会の東野尚志先生と教会員の皆様に、心から感謝申し上げます。(地区書記)

たね

十六年前から教会で、カラシの木を育てている。種のルーツはイスラエル。夏には細長いラツパ状の黄色の花を咲かせます。樹高は約四メートル。

主イエスの「からし種のとたえ」は、神の国について語られたもので、三つの福音書にある。マタイ十三章では、からしを「野菜」といい、「空の鳥が巣を作るほどの木になる」と記し、マルコ四章は、からしを野菜といわないが、「どんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る」と記し、ルカ十三章は、「人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。」と記している。

カラシ種はヒナゲシの種ほどの小ささです。日本では「山椒は小粒でびりりと辛い」と、小さくても決しておろそかにできない存在を指す言葉があります。教会はカラシのような小さな存在のようですが、キリストの復活の命を宿している存在として輝いていたい。種を差し上げています。(中村)

地区委員長挨拶

鴻巣教会 川染 三郎



埼玉地区の課題は、各教会の交わりを豊かにすることです。

とです。

伝道の低迷は、各教会が苦しんでいても、助けがないことに原因があるのではないかと思います。埼玉地区には六十一の教会・伝道所があります。最寄り区(一・二・三区)があるとは言え、教会間の積極的関わりは少ないようです。その最寄り区も格差があり、活動も十分であるとは言えません。

現在地区委員会ではまず、各最寄り区の活動を活性化したいと願って、協議をしています。今年度に入り、常設委員会の委員の補充ができない委員会もあります。問題は複雑ですが、常設委員は各最寄り区の公的機関を設け、そこで委員を選ぶようにしたらどうだろうか」と検討しています。

この最寄り区を他地区のように密接かつ豊かな交わりができるようにすること、そして地区レベルの委員会を設ける



ようにすることを検討しています。組織を変えることは大変難しいことですので、徐々に移行したいと思っています。しかし、伝道協力は急がなければなりませんので、最寄り区の教会の交わりを豊かにすることを最優先にします。

教会の交わりは、それぞれの教会の賜物を共有することができ、祈り合い、支え合うことですが、それぞれが豊かになり、成熟すると確信しています。

地区諸教会・伝道所には、豊かな賜物があります。教会音楽委員会では、礼拝の奏楽者を派遣することを計画しています。奏楽者のご奉仕によって、礼拝の賛美がしつかりすると、礼拝が恵まれます。教会の豊かな交わりにより、その賜物を共有し合せて、教会活動を活性化したいと願っています。

新地区委員紹介

十新地区委員に選ばれて
東大宮教会 久保島 泰



埼玉に来て三年目です。どこにながらあるのか地理的な断片がつながるようになってきました。初めての場所に行く時でも、それなりに見当がつくようになったのです。

ところで、転居してその土地に慣れていくという時に、いつも不思議に思うことがあります。あの時初めて見たこの道を、その同じ道を今見ているはずなのに、心の中では違うと感じるので、見慣れるということとは私の心の風景が上書き保存されていくということから、同じ風景を見ても印象が変化するのは当たり前なのです。あの時見たあの場所はどこかに行ってしまった。二度と行くことはできない、と。

慣れることで得るもの、失うものがあることを心に留めつつ、改めて選ばれた地区委員の責務を主の導きと皆様のお祈りに支えられて、果たしていきたいと願います。

十委員に再選されて

小川教会 末 永廣



この度、二期目の地区委員を引き受けることになりました。まず、これまでの地区委員会活動に於いて与えられたご指導と深い交わりに感謝します。

一期目は、自らの不慣れと作業力の貧しさと度重なる想定外で、諸委員会の皆様にご迷惑を多々おかけしたことをお許し頂きたいと思えます。昨年度は様々な困難の中で牧師館建設・社会活動に立ち向かった小川教会も、二期目の地区委員の奉仕に祈りをもって送り出してくれたので感謝です。

一期目の反省を活かし、二期目も地区の教会形成、伝道に関する諸課題のために、聖書に示されている神の御意志を求めつつ、地区委員会としての働きに奉仕していきたくと祈り願っています。地区、教会の働きの上に主の導きを祈ります。

十伝道と交わりのために!

初雁教会 町田 さとみ



この度、地区委員に選ばれた初雁教会の町田さとみです。選ばれた瞬間に「主、我を愛す」の讃美歌が心に響きました。「主は強ければ、我弱くとも恐れはあらず」。主の御旨と信じ、お従いするばかりです。

私は、西川口教会で洗礼を受け、今年で二十年目になります。吉川市にある東京聖書学校で学びと訓練を頂き、初雁教会に赴任いたしました。教師になつて、今年で十四年目になります。

振り返りますと、私の信仰の歩みは埼玉地区の中にありました。地区内の教会で救われ、地区でのお交わりに恵まれ、今日まで牧者として育てて頂いております。

この度、地区委員に選んで頂いたのは、「これまで地区を通して頂いた恵みに、お返ししない」と、イエス様に言われているのではないかと思います。祈りつつ、主の御心にお従いしながら、他の委員の皆さまと共に奉仕させて頂きます。



十神の召しと受け止めて

上尾使徒教会 国府田 秀行



これまで二年間、初めての地区委員を務めてまいりました。右も左もわからずにご迷惑をおかけした一方で、とても恵みに満ちた二年間でした。しかしながら、この恵みは多くの方が味わった方がよいのではという思いから、選挙の時は、特に新しい方が地区委員になってほしいと申し上げました。また仕事との両立も難しく、どうしても委員会に遅刻や欠席をしてしまうことがありますが。

ところが私の思いとは別に、もう一期二年間を務めることになりました。取るに足らない器ではございますが、神の召しとして受け止めたいと存じます。微力ながらも、この埼玉地区のために、さらに「主にある交わりを深める」ことに関わりたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願っています。



十地区委員に選ばれて

浦和別所 栗原 初音



ハレルヤ！ 「同じ思いとなり、同じ愛を抱き心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。」「フィリピ二章一節

この度、地区総会におきまして地区委員としての働きを受けさせていただきました。御業の妨げにならないよう、微力ながらお手伝いができます。と、思っております。家庭、教会、地区でそれぞれの働きに神様が関わってくださり、導きと励ましの中に最善がなされると信じます。委員として加えられ多岐にわたる見えない処での働きがあり、地区が祝されていることを知る機会となりました。神様の思いを我が思いとして地区委員が一つにされ、祈りの内にこの働きが全うできるようにお祈りくだされば幸いです。

新任教師ご紹介

十フレッシュユな思いで…

浦和別所教会 澤田石 秀晴



この度、浦和別所教会に着任いたしました澤田石秀晴と申します。どうぞ、宜しくお願ひ致します。「澤田石」が苗字で、「秀晴」が名前です（故郷は、秋田県の八郎潟町です）。見慣れない名前ですの名前を憶えてもらうのに、いつも時間がかかっています。私は、五月十六日の関東教区総会で准允を受けたばかりです。年齢的には前期高齢者ですが、新入社員と同じ状況にあり、たどたどしいながらも、フレッシュな思いで教会の業に取り組んでいるところです。これから埼玉地区のみならずまとの交わりを深め、この地域への伝道に力を注いでいきたいと思っております。

今、浦和別所教会では新会堂の建設が最重要課題です。皆様への祈りに覚えて頂ければ幸いです。

十信仰の遺産を

受け継ぎつつ

七里教会 小林 則義



埼玉地区のみなさま、こんにちは。東京聖書学校吉川教会から七里教会に赴任した小林則義です。五月八日、地区の先生方、七里教会の信徒のみなさまにご尽力していただき、無事牧師就任式を行うことができました。飯塚拓也先生の恵み溢れる司式と川染三郎先生、正田國磨呂先生から温かい励ましのメッセージをいただきました。教会創立者の風間直次郎先生も出席して下さり、感謝なひと時でした。七里教会は、昨年四月、突然太田光夫先生を天に送りました。私はその信仰の遺産を受け継ぎ、地域に根差し、地域とともに歩む教会を形成したいと願っています。

地域の方が教会をとてよく思ってください、信頼して下さっていることはとても感謝なことです。また七里教会は聖書の中心を歩む教会でありたいと願っています。

十越生教会に赴任して

越生教会 江田 めぐみ



越生教会の牧師になり感じたことは、牧師の仕事の多さにびっくりいたしました。一週間は「あつ」という間に過ぎてしまい、上手く段取りを取らなければいけない点を痛感しました。特に総会資料作り、説教、聖研の準備、そして夕拝の準備等、時の経つのが早く、一日が二十四時間では足りないと感じています。

「あなたの若き日にあなたの造り主をおぼえよ」(伝道の書十二章一節)、この言葉のように今年度より、日曜学校を立ち上げましたが、子どもたちを集める難しさを感じています。「オリーブの会」を立ち上げ、教会員のみならず地域の人々を含めて月一回の活動(ピザ作り、ステンドグラス製作等)を始めました。神さまに全てをお委ねして仕えてまいります。皆さま、これからも越生教会を覚えてお祈りください。

多様性のある地区での働きに加えられる

本庄旭教会 西上 信義



私は、西上信義と申します。二〇一〇年四月より六年間茨城地区・水戸自由が丘教会と益子教会に奉仕させていただきました。

二〇一一年三月十一日の東日本大震災で、二つの教会堂が破損しました。その痛手の中から、教会員の方々の祈りによって、また町の人々や教区の教会・教団の支援によって回復しました。感謝です。

二〇一六年四月一日より本庄旭教会と世光会旭保育園で奉仕させていただきました。埼玉地区は、六十一教会・伝道所が宣教されている多様性のある豊かな地区ですね。

一人ひとりの方々と出会い信仰の働きを学びたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。



神様の愛の業の為に

愛泉教会 正田 義也



九州から愛泉教会に着任した正田義也です。埼玉で育ったので、故郷に戻ってきたというのが率直な感想です。

愛泉教会は戦争で親を失った子どもを保護するために、キョウクリヒ宣教師が創立した愛泉寮という児童福祉施設が、その原点にあります。今日も愛泉寮の子どもたちを始め、愛の泉の老人ホームの利用者が礼拝を捧げています。

愛の泉には児童福祉施設の外に、乳児園、保育園、養護老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設があります。私は愛泉寮に関わる働きをいたします。三百名近くの職員が働き、神の愛に根差し協力して、助けを必要としている人に伝え、また地域に仕える姿に圧倒されました。

主任の森田弘道先生のもと、愛の泉の働き、また礼拝を通じて、神様の愛の業の為に祈り励んで行きたいと思えます。

地域伝道に仕えるために

菫浦教会 東海林 昭雄



主がなされることは実に不思議です。初めて牧師と

いう存在がいることを知ったのが小学一年生の頃でした。郷里の秋田県横手市で夏休みに川遊びをしていた時、対岸で真っ白い衣を羽織った人たちが次つぎと川の中に入って行く姿が、半世紀過ぎた今でも脳裏にくっきりと刻まれています。それは、当教会の前任者である細谷武英牧師が洗礼式を行っていた時の光景であったのです。

キリスト教信仰とは無縁だった者が上京後、キリスト者学生会のバイブルキャンプを通して信仰へ導かれ、そして日本基督教団の教師となって、面識のなかった細谷師との交わりを持つことになろうとは思像すら出来ないことでした。

菫浦教会は現在、大変困難な中におかれています。関連のあやめ保育園と共に、地域伝道に仕えていきたいと思っております。

神が働かれる宣教の業に

北本教会 温井 節子



「あなたが行ったの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています」フィリピの信徒への手紙一章六節。

秩父教会に赴任して三年目を迎えたところです。この度、同じ三区の北本教会へ兼務主任担任教師として異動しました。赴任して一ヶ月間は人数が固定し新来会者がありませんでしたが、新来会者のことを皆で祈り続けたところ、新来会者四名と子どもが加わり励みとなりました。

今年度の教会標語は「主イエスを信じなさい。そうすればあなたも家族も救われます」です。それを実践した教会員が御家族を礼拝にお連れしたので

家族に福音宣教するのは私共ですが、救いの業を成すのは神です。私共は意気消沈せず、神が働かれる事を信じ祈る者でありたいものです。

あつという間の九年：そして再び埼玉の地で

埼玉大通り教会 川添 義和



二〇一六年四月一日より埼玉大通り教会に赴任しました。

た川添義和です。高校卒業後、狭山市の飲食店にて約八年半働きました。その後、東大宮に引越し、日本基督教団東大宮教会の礼拝に出席するようになりました。一九九八年四月のイースターに山ノ下恭二先生より洗礼を授けられました。その後、伝道者の召しを与えられ、二〇〇一年四月に東京神学大学学部一年に入学し六年間学びました。

卒業後、最初の任地は高知市にあります高知中央教会でした。三年間牧会し、静岡県浜松市にありますが気賀教会にて六年間伝道者として歩きました。振り返りますと、あつという間の九年でした。

この度、埼玉県に戻ってきましたが、九年間、地方にて暮らしていたこともあり、さいたま市の光景が都会に見えます。埼玉大通り教会にて仕えてまいりたいと思っております。

集会報告

十教会音楽講習会

上尾合同教会 中村 裕子

ルターの宗教改革から五百年を来年に控え、教会音楽委員会では二〇一六年度の年間テーマを「ルターの讃美歌から生まれた合唱曲」と決定しました。第一回講習会を「ルターのコラールに基づくバツハのカンタータ」と題して、講師に磯山雅先生をお迎えし、五月二十一日(土)、埼玉新生教会において開催できたことを感謝いたします。



講師の講演に聞き入る

今回は特に、J・S・バッハの教会カンタータ第三十八番、讃美歌21―一六〇番「深き悩みより」を時にCDを聴きながら、詳しく解説してくださいました。コラールとは、ドイツのプロ

テスタント教会で会衆の歌うドイツ語讃美歌を意味し、讃美歌21にはルターのコラールが十曲含まれ、そのうち一六〇番、二四六番、三七七番の三曲は、詩も曲もルターによるものです。

また、カンタータとは、十七〜十八世紀に発展した独唱と合唱によって歌われる器楽伴奏を伴う楽曲です。バツハは、音楽による説教の意味を持たせ、多くの教会カンタータを作曲しました。

この教会カンタータ第三十八番「深き悩みより」は、第一曲コラール、第二曲朗読、第三曲アリア、第四曲朗読、第五曲三重奏、第六曲コラール(合唱)で構成され、コラールは詩編一三〇編に基づいています。

バツハは、その日の礼拝のテーマに沿って妥協せず、ことを大切に毎週の礼拝のためにできる限り新しい曲を作り続けたそうです。

今回は、地区内十三教会より三十四名の参加者を与えられ、多くの方々と共に、みことばと音楽を通し、ルターやバツハの信仰を学ぶことができた恵みを感じています。第二回講習会は、十一月五日(土)の予定です。(教会音楽委員会)

十春のフェスタ報告

坂戸いずみ教会 山岡 創

皿が飛ぶ。はしが飛ぶ。肉が飛ぶ……。春の嵐の中のパークキユー。こんな強風のなかでやるのは初めて。大変だった。でも、おもしろかった。

四月二十九日(金・祝)に、教育委員会が主催する中学生KKK・春のフェスタ(新入生歓迎会)が、坂戸いずみ教会を会場に行われた。

開始十時半よりも早めに来た人で、ワイワイガヤガヤとバーベキューの準備。

開会礼拝では神学生となった野澤幸宏委員が説教。「就活」「婚活」「終活」等、よく若者の間で「〇〇活」ということが言われるが、野澤委員は「愛活」をテーマに、キリストを信じる者の日常生活は愛活であるという視点で話した。

続いて交流タイム。丸くなって座り、動物の鳴き声歌合戦、ペア探しゲーム、二人組になって相手のことを紹介する他己紹介で交流を深めた。

その後、すぐそばの高麗川土手の広場に移動。みんなでお楽しみのバーベキュー。しかし！最初に書いたがかなりの強風。そばにいた別のグループから、

「やりますか？」と聞かれるほどだった。油断していると、皿が、はしが、コップが、タレが、肉が、野菜が飛んで行く。雲を突き抜け星になるかと思った(↑これが分かる人、かなり古い！笑)。とは言え、キヤーカー言いながら、みんな楽しんでいた。



今回は夏のキャンプにつながるための機会。でも、年度初めで色々あったのか、参加者は少なめだった(二十三名)。

地区の皆さま、夏のキャンプにぜひ、中学・高校生をお送りください。(青年部担当)

十地区婦人部総会顛末記

埼玉和光教会 眞壁 泰子

開会礼拝で、久保島理恵牧師は『何をしてほしいのか』(マルコ十章四十六〜五十二節)と題して、「日本では、女性は教会の土台である」と切り出され、一瞬冷たく聞こえる「何をしてほしいのか」というイエスの言葉に、「見えるようになりたい」と言い切ったバルティマイの信仰のひとかけらでも見習いたいと思いつつ、上程した議案が無事通りますように！と願いました。

規約に絡む議案で、喧々囂々の意見交換になるかと思いきや……。議事を誠実に(いや必死に)こなして下さった委員長長の『閉会の祈り』に「アーメン」と心より感謝いたしました。

委員も、やってみれば、共に歩んで下さる神様の愛を実感できます。後一年、それを信じて努めます。

(婦人部書記)



十伝道委員研修会

熊谷教会 大坪 直史

六月十九日(日) 埼玉新生教会にて「役員・伝道委員研修会」が行われました。

久保島泰牧師の挨拶、祈祷、講師紹介を経て、波多野保夫先生(山形六日町教会伝道師)のご講演でした。

波多野先生は、神学校卒業後一年間、米国長老教会(PCUSA)を中心にインターンをなさり、様々な教会の礼拝やプログラムに参加され、その時の経験や学び、色々なデータや写真のパワーポイントにまとめて、ご講演くださいました。



先生は、あるハワイの教会の玄関に飾られている船の絵と模様の写真を見せてくださいました。その船はあのタイタニック号遭難事件の際、積極的に生存者の救助活動に当たったことで有名なカルパチア号です。タイタニック号の近くにいた幾つかの船が、二次災害の危険を恐れて救助に赴かな

かったにもかかわらず、カルパチア号は危険を顧みず、真つ先に全力で生存者の救助へ向かったのです。つまり、その教会は、カルパチア号の姿勢に倣い、リスクを恐れない伝道を心掛けていくということです。



会場の光景

また、波多野先生は、日本の教会も米国の教会も、聖書や礼拝、説教や聖礼典を重んじるという点では、間口は一緒であるが、その深さや方向は異なる、とお話くださいました。その他、大教会において「お客さん化」を防ぐ、伝統的礼拝形態と現代的礼拝形態の調和、長老派的信仰姿勢(理性的、信仰告白的)と聖霊派的信仰姿勢(聖霊への篤い信頼)のバランス、霊的成長と数的成長の関係など、豊かな示唆やヒントを与えてくださいました。

ご講演中、何度か紹介されたフレーズは、「これでは教会は

成長してしまおう!」でした。私たちも、祈りをもって新しい伝道に臨みつつ、「これでは教会は成長してしまおう!」という喜びの叫びを上げたいと祈り願うものです。

参加者三十五名(男性二十二名、女性十三名)、参加教会十四教会。(伝道委員)

十IIT祭り

西川口教会 金田佐久子

六月二十六日(日)、埼玉新生教会にて第十五回IIT祭りを開催いたしました。

今回は、日本キリスト教団出版局「信徒の友」「こころの友」編集部、市川真紀氏をお迎えして、「メディア伝道の可能性を探る パート五 紙媒体と電子媒体、win-winの関係を目指して」と題して講演をしていただきました。



講師の自己紹介から始まり、次いで「信徒の友」「こころの友」の制作について伺いました。「こころの友」は、教会に行ったことがない人、聖書に触れたことのない人を対象として編集している。続いて、日本キリスト教団出版局のホームページ(以下、HP)を見ながら、主なところをご紹介いただきました。現在のHPは制作会社に外注して、日々の更新は営業担当の方がしています。最近ツイッターも始めました。

「信徒の友」のページでは、各号の題名・執筆者・執筆者の肩書が紹介されています。編集部からは、「信徒の友」に掲載されているイラストデータの提供があります。もう一つは、編集部への意見・感想や、読者文芸等の投稿フォームがあることです。郵送費もかからず、気軽に、幅広い層の読者の声や作品が編集部へ送られてくるのを待っているそうです。

「信徒の友」に、ご自分やご自分の教会の記事が掲載されるとき、その人が記事を全部写真に撮って、HPやブログなどで掲載したことがあったそうです。それは全く悪気はないが、その記事を読んでしまったら、雑誌を買う必要がなくなっ

てしまいます。記事の一部分の掲載であったら、それは宣伝になってありがたいと笑いをさそいました。



参加者全員で

休憩をはさんで、当日参加されている教会のうち、リニューアルや、オープンした教会のHPの紹介を行い、HPを持ちたい教会の方からの質問等もあり、埼玉地区HP委員会はHPの立ち上げに協力することをお伝えできました。

閉会祈祷を高田輝樹牧師(草加教会)が行い、最後に参加者全員で集合写真を撮り、散会となりました。十一教会二十五名(講師含む)の方が参加され、良き交わりの時となりました。HP委員会 金田佐久子

特集

地区通信委員会は、各教会の「今・そして課題と展望」を紹介いただき、お互いを身近に感じ、知り、「主にある交わりを深める」一助になることを期待しています。

*** **

十教会の今、課題と展望

志木教会 横山 基生

今年の志木教会の年間標語聖句は、詩編八十六編十節「あなたは偉大な神、驚くべき御業を成し遂げられる方、ただあなたひとり、神」です。

今もなお生き、働いておられる主なる神を、日々の生活のただ中において、知り、感謝し、畏れ、礼拝し、喜び、味わい、証しする神の民でありたいと願っています。

志木教会も教会員の高齢化が進んでいます。お年を重ね、礼拝に来たくても来られなくなっている方も増えています。このような中に、何らかの手立てをしたいと模索しています。

公益事業として、泉幼稚園が与えられています。キリスト教



志木教会の2015年婦人会クリスマス

主義学校からも多くの子ども達が送られてきます。これらの若き魂が、主を知り、主の僕となり、次世代の志木教会を担う者達へと成長することができるようにと日々祈りつつ、主から知恵と力をいただき、励んでいます。

七月下旬から幼稚園舎改築及び牧師館併設工事が始まります。お祈りいただけます幸いです。

十青春の日々にこそ お前の創造主に心を留めよ

深谷教会 保母 光彦

一九一六年三月二十六日創立、今年、百周年を迎えました。

教会、医療伝道、幼稚園が歴代の牧師によって創設され運営されて来ました。百周年を迎え、これからの教会の歩みについて祈り、百周年の歩みと現教会の在り方を話し合ったときに気付いたのは、まさに神さまの幼稚園、教会学校の恵みでした。そして、教会員の数十パーセントは、幼児（おさなご）に關わって下さった方だと気付いたのでした。



おさなごと共に

あまりに幼稚園児が減り、教会学校に集う子どもたちも減少して来たとき、園児の保護者の方々が、白百合幼稚園がなくなつてはいけなさと皆さんで園児の勧誘、ホームページの更新、パンフレットの作成、知り合いのお店にパンフレットを置いていただくことなど、自主的に行動していただきました。ま

た、教会員である看護歴豊富な姉妹によって、先生、保護者の安心安全を配慮しながら福音を届けることに努めています。

医療伝道においても信仰に結ばれて本当に相手のことを思いやる医療体制が養われています。幼稚園と教会学校を祈って推し進めることこそ、私たちの目標です。「まず神の国と神の義を求めなさい」。間違いない、主は導かれると信じています。

十複数礼拝の恵み

埼玉新生教会 中村 眞

二十年前、CS生徒数の減少を契機にCSは大きく舵を切りました。楽しいことと命に關わることには、誰でも関心を寄せることから「プレイズ・ファミリー（通称PF）」を開始し、主に祝福されて来年二十周年を迎えます。

CS教師は先生からスタッフになり、ニックネームで呼び合います。子どもさんびかはテンプの速いワッシュアップソングに変え、楽しさや親しみをもてるよう工夫しました。現在、幼児から高齢者までが神の家族として、毎週八十〜九十人でP

F礼拝をささげています。

付属の幼稚園児にはPF礼拝への家族参加のお勧めと、全園児がPF礼拝の体験をする宣教の取組みもしています。



PFの子どもが成長して洗礼を受け、午後の第二礼拝の奉仕者となっていることは大きな喜びです。この礼拝では、讚美歌21に加えてユース（青年）向けの Hillsong や Gospel アレンジの曲を用います。ユースの課題は、部活動と礼拝時間が重なることです。そのため、月に一度土曜日の夕方に「みことばに聴こうの会」を開き、聖書に聴き、夕食をかこんで交わりをしています。

当教会は、主日に九時のPF礼拝、十時三十分と十三時三十分からの三つの礼拝をささげ、「神の家族」として共に生きる歩みをしています。

地区委員会報告

二〇一六年度第一回委員会

日時 三月二十一日(月)

会場 聖学院教会

出席 十一人

陪席 四人

●主な協議事項

一、埼玉地区総会諸報告承認及び議案決定事項の確認の件

総会補助書記の久保島理恵牧師・横山基生牧師の陪席のもと、二〇一六年度埼玉地区総会報告の承認と議案の決定事項の確認を行った。

二、地区委員の担当・役割分担の件

委員長 川染三郎
副委員長 野村忠規
書記 末 永廣

會計 国府田秀行
補助書記 川口孝弘

補助會計 町田さとみ
伝道 久保島 泰

教育 山岡 創
社会 石川幸男

教師 町田さとみ
地区通信 田中かおる

H P 田中かおる
修養会 末 永廣

壮年部 石川幸男
婦人部 栗原初音

青年部 山岡 創
障教懇 石川幸男

教会音楽

川口孝弘
飯野敏明・委嘱
飯野敏明・委嘱

同宗連 飯野敏明・委嘱
川越少年刑務所教誨師 山岡 創・委嘱

カルト問題 白石多美出・委嘱

三、委員会日程と会場の件
第二回 四月二十六日(火)
会場・埼玉新生教会

●閉会祈祷 久保島 泰

二〇一六年度第二回委員会
日時 四月二十六日(火)
会場 埼玉新生教会
出席 十一人
陪席 二人

●地区内の教会・教師の報告

●就任
浦和別所 澤田石秀晴(補)
埼玉大通り 川添義和(正)
七里 小林則義(正)
越生 江田めぐみ(正)
菖蒲 東海林昭雄(正)
羽生伝 伊早坂貴宏(補)
北本 温井節子(正)
本庄旭 西上信義(正)
愛泉 疋田義也(補)

◎代務就任
日野原記念上尾栄光
埼玉和光 疋田國磨呂(正)
最上光宏(正)

◎辞任

浦和別所 浅田美由紀(正)
東京聖書学校吉川 小林則義(正)

日野原記念上尾栄光 東海林昭雄(正)

埼玉和光 三浦 修(正)
越生 西海満希子(正)
菖蒲 細谷武英(正)
羽生伝 星山京子(補)
北本 石川榮一(正)
本庄旭 木俣 修(正)

◎代務辞任
埼玉大通り 深井智朗(正)
七里 飯塚拓也(正)

●會計報告
四月一日から四月二十五日分

●各委員会・各部報告

●主な協議事項
一、埼玉地区総会付託議案に関する件◎議案第七号 地区會計監査選任の件 継続。◎議案第八号 埼玉地区総会議事録承認に関する件 「二〇一六年度埼玉地区総会議事録」を承認。◎議案第九号 次回埼玉地区総会会場及び日程の件 継続。

二、地区委員会主催集會等に関する件①新年合同礼拝開催に関する件 継続。②埼玉地区総会協議会日程、会場に関する件 継続。③伝道所・集會との懇談会に関する件

日時・本年度より伝道委員会主催により「小規模教会・伝道所懇談会(仮)」を計画する。二〇一六年十月三十日(日) 十五時三〇分より 会場・埼玉新生教会

三、地区委員会日程及び会場等に関する件 以下の予定を承認した。
臨時 六月二十八日(火)
第三回 七月十二日(火)
第四回 九月十六日(金)
第五回 十一月十五日(火)
第六回 一月十七日(火)
第七回 二月十四日(火)
会場・埼玉新生教会

四、教区総会設営に関する件
第六十六回関東教区総会設営について、事務局と進行表をもとに打合せをした。前日準備及び当日の設営委員会各班の分掌を確認した。

五、教区韓国京畿中部老会訪問の件 地区推薦者二名疋田國磨呂牧師(大宮)と後藤龍男兄(和戸)を決め、参加費用を補助することを承認した。

六、埼玉同宗連・宗教連合委員派遣の件 竹内紹一郎牧師(深谷西島)を推薦することを承認した。

七、教誨師派遣の件
川越少年刑務所教誨師の派

遣を一名増員するため、小林則義牧師(七里)を推薦することを承認した。併せて、追加の会費負担についても承認した。

●閉会祈祷・野村忠規
編集後記
二〇一六年度の埼玉地区総会で選出された地区委員に就任の思いを、そして、この年度就任された八人の教師に教会形成と宣教への思いを紹介させていただきました。

常設委員会、特設委員会、各部会で企画し開催された集会の報告を通して、少しでもそれぞれの働きが身近なものとなることを願っています。

六十一教会・伝道所を覚え合う「特集」のページは、三教会から課題と展望を寄稿していただきました。高齢化する教会の歩みの中で、次世代への信仰継承のために知恵と力を！と祈りつつ様々な工夫の中にある教会の姿をご紹介いただくことができました。

「…すべての部分が共に喜ぶ」ことができるように、「主にある交わりを深めよう」の主題が活きる一助となることを祈りつつ、今年度も地区通信委員一同、その発行に努めたいと願っています。(茨木)